



将来、超高齢・人口減少社会になっても、一人ひとりに役割と居場所があり、幸せが実感できるまちを目指すための道しるべである3つのフラッグが「つながり」「あんしん」「みどり」です。

つながり 一人ひとりに役割と居場所があるまち

あんしん 助けがなかったら生きていけない人は全力で守る

みどり ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに

今回は **つながり** についてご紹介します。

問 行政課 ☎56-0605 記事ID 7928

[HPを見る](#)

原爆写真パネル展

広島・長崎の原爆被害の状況等について、写真など分かりやすく説明した原爆写真パネル展を開催します。広島平和記念資料館からお借りしたものを展示します。市民からお借りした資料も展示します。

時 8月6日(火)～11日(日・祝)
9:00～17:00

※6日は13:00から、11日は16:00まで

場 文化の家1階 展示室

運営ボランティア募集中!!

期間中、受付などのお手伝いをしていただける人を募集しています。

語り部による戦争を語り継ぐ集い

戦争の悲惨さや平和の大切さを後世に伝えるために、戦争を体験した市民やその家族による戦争を語り継ぐ集いを開催します。戦争のない平和な社会を築いていくために、歴史の授業でしか戦争を知らない子ども達にぜひ聞かせてあげてください。

時 8月 9日(金) 13:00～、14:00～
11日(日・祝) 10:00～、11:00～
戦争体験した市民やその家族による講話(各回約45分)

8月11日(日・祝) 13:30～
広島から招いた被爆体験伝承者による講話(約60分)

場 文化の家1階 光のホール



まちづくりの達人に聞く

「市民主体のまちづくり」と言われてみなさんは何か具体的なイメージがありますか？

ここでは、主体的に活動している市民に情報課職員が取材したことを紹介します。

～平和事業推進委員、語り部のみなさん～

平和事業推進委員会とは

本市では、2014年9月30日に「非核平和都市宣言」を行いました。この宣言に基づき、原爆写真パネル展や語り部による戦争を語り継ぐ集いなど、さまざまな平和事業に取り組んでいます。その平和事業の活動について主体となり取り組んでいるのが、今回紹介する「平和事業推進委員会」です。



平和事業推進委員会
委員長 吉田 真砂 さん

たくさんの人と出会う。
新しいことを知る。
自分の想いを伝える。
この委員会に参加したからこそできたことです。

平和事業の活動に参加したきっかけ

誘いを受けて参加しました。生まれも育ちも長久手なのですが、他市で働いていたこともあり、長久手のことをあまり知りませんでした。これは長久手を知り、生まれ育ったまちに恩返しできるいい機会だと考え、参加を決めました。

活動でのやりがいや大変だったこと

本委員会のみなさんは、それぞれとても強い想いをもっていらつしやるので、会議の際には多くの意見、想いが飛び交い、話し合いがなかなか進まないこともあります。しかし、みなさんの平和を願う想いの強さを再確認できたり、新たな発見ができたりして充実したときを過ごすことができます。

今後の活動

現在は、8月に開催する原爆写真パネル展と語り部による戦争を語り継ぐ集いの準備を進めています。また、新たな語り部を探すなどしていきます。

市民へのメッセージ

平和事業と聞くと、少し特別な感じをもってしまいかもしれません。しかし、平和を願う気持ち、命を大切にすることを決して特別なものではなく、きつとみなさんの心のどこかにもあると思います。

ぜひ、原爆写真パネル展と語り部による戦争を語り継ぐ集いに参加してほしいです。

取材を終えて

「平和を願う気持ちは特別なものじゃない。」この一言がとても印象的でした。

「平和事業」と聞くと、どことなく自分とは縁遠いものを感じてしまいます。しかし、「平和がいいか、戦争をしたいか」と聞かれれば迷わず、「平和がいい」と答えます。みなさんも同じなのではないでしょうか。誰だって平和がいいに決まっています。そして、その気持ちが寄り集まって、行動することで世界を平和に導くのだと思います。まずは簡単なところから、例えば語り部さんのお話を聴くだけでも立派な平和事業への参加です。ぜひ参加してみてください。